

2010年6月18日

2013年3月までに、全てのガス給湯器をエコジョーズにする  
「エコジョーズ化宣言2013」  
に賛同します



株式会社ガスター(神奈川県大和市 代表取締役社長:中西誠一)は、社団法人日本ガス石油機器工業会(会長:吉井久夫)と日本ガス体エネルギー普及促進協議会(通称:コラボ、会長:村木 茂)が表明する「エコジョーズ化宣言2013」に賛同します。

2013年3月までに、ガス機器メーカーが生産する全ての\*1ガス給湯器を潜熱回収型ガス給湯器「エコジョーズ」に切り替え、低炭素社会の実現に向けた取り組みとして省エネ・CO2削減に貢献します。

潜熱回収型ガス給湯器「エコジョーズ」は、従来は捨てていた排気中の潜熱を回収して再利用することにより、熱効率を約95%にまで高めた、省エネルギー性・環境性に優れた給湯器です。エコジョーズを使用することにより、CO2排出量を従来の給湯器に比べて約13%削減することができます。また、太陽光や太陽熱といった再生可能エネルギーと組み合わせることにより、更なる省エネ・省CO2を図ることが可能です。

2002年10月の販売開始以来、2009年3月末までの「エコジョーズ」の累計出荷台数は158万6千台で、これによるCO2削減効果は約35万t\*2と推定しています。

2020年には合計2000万台の普及を目標としており、約445万t\*2のCO2削減効果を見込んでいます。

ガスターは社団法人日本ガス石油機器工業会と日本ガス体エネルギー普及促進協議会とガス給湯器のエコジョーズ化に向けた具体的な検討を進めていくとともに、「エコジョーズ化宣言2013」の共通ロゴをパンフレットやチラシ等に掲載し、お客様へのPR活動を推進していきます。

今後も関連業界・団体と連携し、ガスのある快適な暮らしをサポートするとともに、低炭素社会の実現に向けた活動を展開していきます。

\*1給湯能力16号以上の屋外設置型強制排気式(RF式)、屋内設置型強制給排気式(FF式)が対象。

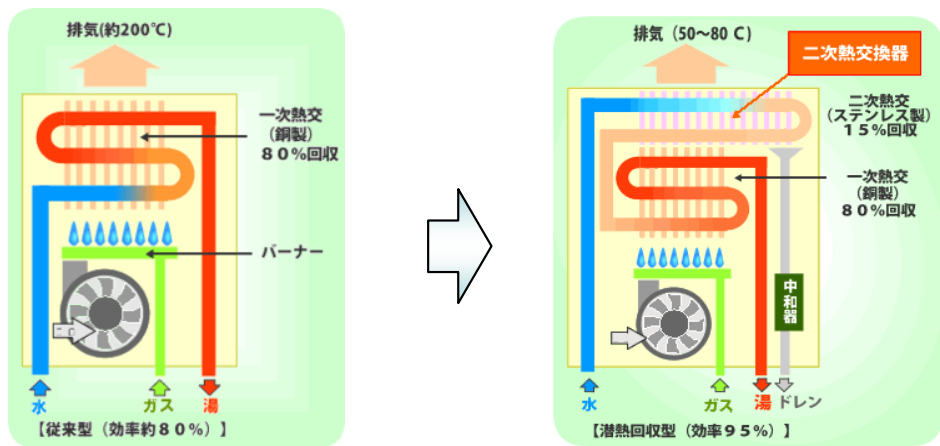
既築集合住宅の取替や特定物件用など取り付けが困難なもの(バランス型ふろがまや小型湯沸かし器等)については、従来品の製造も継続。

\*2潜熱回収型ガス給湯器のCO2削減効果を約222.6kg-CO2/世帯・年として算定

#### 【参考1】エコジョーズ本体



【参考2】 潜熱回収型ガス給湯器「エコジョーズ」の概要



【通常型ガス給湯器】

【潜熱回収型ガス給湯器】

【参考3】 エコジョーズ化宣言ロゴ



【参考4】 エコジョーズ（都市ガス仕様+LPガス仕様）の累積出荷台数の推移

